



京都フュージョニアリング株式会社に対する支援決定(出資)について

2026 年 8 月24日

GX 推進機構

GX 推進機構は、京都フュージョニアリング株式会社に対する金融支援を行いました。同社が有するフュージョンエネルギーの社会実装に資する基盤技術の製造体制の強化等を後押しし、将来の脱炭素化、エネルギー安定供給の確保及び我が国産業の競争力強化に貢献することが期待されます。

GX 推進機構(以下「機構」)は、京都フュージョニアリング株式会社(以下「京都フュージョニアリング」)に対して、出資を行いました。

京都フュージョニアリングは、フュージョンエネルギーの社会実装を目指し、プラズマ加熱システム(ジャイロトロン)、熱サイクル・燃料増殖システム、燃料サイクルシステムといったフュージョンエネルギープラントに資する基盤技術の開発、製造及びエンジニアリングを手掛けるスタートアップです。

本案件は、同社のプラズマ加熱システム(ジャイロトロン)の製造能力増強・性能向上、並びに熱サイクルシステムの高度化を支援するものです。機構は、同社が有するフュージョンエネルギー関連技術及び国内外の公的研究機関、事業者等との連携実績を評価し、フュージョンエネルギーの社会実装を通じた脱炭素化、エネルギー安定供給の確保及び我が国産業の競争力強化に資するものと判断し、本件出資を決定しました。

加えて、本件は、2026 年 7 月に閣議決定された「日本成長戦略」において戦略分野の一つとされたフュージョンエネルギーの推進にも寄与するものです。

1. 事業者の概要

- ① 名 称: 京都フュージョニアリング株式会社
- ② 本社所在地: 東京都大田区平和島六丁目 1 番 1 号
東京流通センター 物流ビル A 棟 AW1-S
- ③ 代 表 者: 小西 哲之 世古 圭
- ④ 設 立 年: 2019 年 10 月 1 日
- ⑤ 主な事業内容: フュージョンエネルギープラント関連装置・システムの研究開発
及びプラントエンジニアリング



2. 本支援の政策的意義

① CO₂ 排出削減の観点

- ・ フュージョンエネルギーは、発電過程で CO₂ を発生しないこと、燃料が豊富に存在すること、安全性及び環境保全性といった特徴を有し、エネルギー問題と地球環境問題を同時に解決する次世代エネルギーとして期待されています。
- ・ 実現すれば、気象条件に左右されない安定的な電源としての活用に加え、産業用熱源としての活用も期待され、幅広い分野の脱炭素化へ貢献する可能性があります。
- ・ 京都フュージョニアリングの事業拡大を支援することで、将来的なフュージョンエネルギーの社会実装を加速し、我が国及び国際社会における CO₂ 排出削減に寄与することが期待されます。

② 産業競争力強化・経済成長の観点

- ・ フュージョンエネルギー分野では、各国において官民による研究開発・産業化の取組が加速しており、次世代エネルギー産業を巡る国際競争が本格化しています。日本政府も、フュージョンエネルギーを新たな産業として捉え、サプライチェーン構築やスタートアップ支援等を通じた産業エコシステムの形成を進める方針を示しています。
- ・ 京都フュージョニアリングは、国内外の公的研究機関や事業者と連携しながら、炉型を問わず必要となる基幹機器・システムの開発を進めています。同社の成長は、我が国が強みを有する材料、精密加工、重電、プラントエンジニアリング等の関連産業への波及を通じ、国内サプライチェーンの高度化及び海外市場の獲得に繋がることが期待されます。

機構は、引き続き、官民協調での 150 兆円超の GX 投資を実現するべく、GX に資する事業の推進に挑戦する企業に対して、積極的に支援してまいります。

(本発表資料のお問合せ先)

GX 推進機構 金融推進部

メール: gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。